

郎氏著)が出たが、この十一月になつて、この第一冊が出た、序を追つて發行されることであらう、本書は富士研究の主任史料編輯官井野邊茂雄氏の執筆である、菊版五百四頁緒言、序説の外、富士の歴史として、その出現傳説、噴火噴烟の記事名稱の考證、山林、登山の沿革と各登山口の盛衰とをのべ第六章に各地の富士と稱するもの憧憬の情をよせたもの、及研究條録と文獻が出てゐる。

淺間神社の仕事として誠に神慮に叶つた美舉である、挿入圖版二四枚いづれも面白い。予は噴火の歴史と登山に關する史的考證とその發達に多大の感興をひいた。日本の誇である富士山に先人のよせた憧憬の情と、山を中心とした信仰的登山の發達を見て卷をおく時を忘れた。山と人文との關係を學ばんとする人に一本をすゝめる。印刷鮮明、紙質好美製本もよい近來の快著といつてはゝからぬ。(F)

○物産と地理

新貝清三郎著 昭和三年十月 大阪寶文館發行 定價一圓八十錢 四六版三三七頁

著者は岐阜縣師範學校に奉職せる篤學の青年である。多年地理教育に従事し小學校教授上の參考として蒐集した物産に關する品目、動植物凡二百二十一種について各其地理的條件、地理的分布生産の狀況消費の狀況、といった各方面を克明にしかも簡短に記述したものである。簡易商品學とでも評すべきである。小學校の地理科もしくは青年教育所の參考圖書として適當であらう。何分三百六七十頁の小冊子であるか

ら、地理學的説明に缺くる所がある。地理的分布といふ項目はあるけれども、その説明があまりに簡短であるからである。經濟地理學としては、かうした各種の品目的研究の上に更らに地理學的説明を與へねばならぬ。しかし、本書はさうした目的で書かれたのではない。挿圖に説明がないし分布地圖もないのが淋しい。これは價格のためにかうなつたのであらう予はこゝまで蒐集した著書の努力を多とする。(藤田)

新著即報

◎近畿の山々 山崎恒雄著 昭和三年九月 大阪西區江戸堀

近畿登山研究會發行 家村文振堂發賣 定價一圓五〇錢

◎本邦溫泉論考 石川成章著 昭和三年十一月 古今書院發

行 定價一圓六〇錢

◎日本石器時代遺物發見地名表 第五版 八幡一郎 中谷治

宇一郎增訂 東京帝國大學編 昭和三年十月 岡書院發

行 定價三圓五〇錢

◎北海道石炭鑛業會々報 一一七號 十月

北海道石炭鑛業に就て(上)(直原佐平)

石狩炭田の炭層狀態に就て(村田析)

南樺太の石炭鑛業(二)(松本彬)

◎民族 第四卷第一號 十一月

臺灣の瑯嶠族(幣原坦)

◎兒童教育 第二二卷第一一號 十一月

地震學研究の趨勢(石本巳四雄)

◎ A Series of elementary exercises upon geological maps. By John I. Platt. 1928. T. Murby & Co.

(London). 80 sch.

◎改訂増補北海道鑛業誌 北海道石炭鑛業會編 昭和三年九月

月 定價四圓

△二十萬分一帝國圖 新版 廣尾 十月 陸地測量部

△五萬分一地形圖修正版 敷香 八王子 九月 陸地測量部

◎——集 木口忠太郎著 十月 京都達磨堂發行 非賣品

◎ The National Geographic Magazine. Vol. LIV, No. 5

Nov. 1928

The world's greatest overland explorer. How Marco

Polo penetrated farthest Asia, etc.(J. R. Hildebrand)

Life among the Lamas of Choni. (Joseph F. Rock)

◎京都名勝誌 京都市編 十一月 京都市役所刊

◎ The Geographical Journal. Vol. LX XII, No. 4. Oct

Pre-Ghal in Waziristan. (W. R. Hay)

The sailing charts of the Marshall Islanders.

(Henry Lyons)

Note on the headwaters of the Yarkand River.

(Margaret Gregson)

The aridity of the Turfan Area (R. C. F. Schomburg).

The official organization of Japanese.(J. H. Reynolds)

◎政治經濟地理學 佐藤弘著 昭和三年十一月 古今書院

定價三圓八〇錢

◎地學雜誌 第四〇年第四七七號 十一月

樺太豐原線の泥火山(齋藤文雄)

本邦油田に於ける溫泉(一)(千谷好之助)

白頭山(三)(山成不二麿)

蒼鉛鑛と其產地並に蒼鉛鑛から見た日本及支那(植村癸巳男)

丹後地震及其地變(三)(渡邊久吉 佐藤文止)

秋吉臺カルスト(石灰岩景觀)(四)(佐藤傳藏)

◎水曜會誌第五卷 第九號 十月

朝鮮及滿洲に發掘されたる古き鐵鑄物に就て(齋藤大吉)

筑豊炭田の火成岩及其の石炭に及ぼす影響(II)(上治寅次郎)

◎理科年表 第五冊(昭和四年)東京天文臺編 昭和三年十月

丸善株式會社發賣 定價一圓五〇錢

◎科學畫報 第十一卷第六號 十二月

四百萬年前の蝦の化石發見(佐伯四郎)

日本一の名古屋運河(齋佐吉)

世界最古の蓮の實(大賀一郎)

◎大阪 第四卷 第十一號 十一月

大阪と移入鮮人の問題(井上吉次郎)

人口の都市集中傾向と大阪市の人口(小川勇藏)

◎關東探勝記 徳富猪一郎著 十一月 民友社發行 定價五

○錢

○支那鐵業時報 第七十號 十一月

東蒙古タフスノール天然曹達調査報告(新帝國太郎)
東內蒙古玻璃山、太平洋及豐庫附近天然曹達調査報告
(澤介治、今井澄)

楊子江沿岸ニ於ケル鐵鑛(大治、桃沖、太平)調査報告
(赤瀬川安彦)

支那ニ於ケル滿鐵鑛(赤瀬川安彦)

熱河北票炭田地質調査報告(譚錫嘯)

○ *The Pan-American Geologist*, Vol. L, No. 8, Oct. 1928.

Paleozoic Mountain Systems (E. B. Bailey)

Physiography of Roof of World (Physiography of Tibet) (S. W. Boggess)

○ *Journal of the Franklin Institute*, Vol. 206, No. 4, Oct. 1928.

Topography from the Air (L. J. R. Holst)

○ *Nature*, Vol. 122, No. 3075, Oct. 6, 1928.

Wordsworth as a Pioneer in the Science of Scenery. (V. Cornish)

○ *Zeitschrift für praktische Geologie*, 36. Jahrg.

Heft 10, Oct. 1928.

Erzlagstätten, Magmatische Aktivität und Gesteins-tektonik (P. Niggli)

○地理教育 第九卷第三號 十二月

アフリカニスタンの略誌(上)(早坂一郎)

マッキンダー氏の所謂哲學的地理學の内容(田中秀作)
大阪平野の發達(三)(伏見義夫)

臺灣東南方の一孤島紅頭嶼に就て(下)(宮内悅藏)

○地理學評論 第四卷 第十二號 十二月

瀬戸内海と筑豊地塊の境界帶の起源論(東木龍七)
大阪府下の灌漑農業(上)(山極二郎)

本邦に於ける農事等着手線圖に就いて(金尾宗平)

○ *Zeitschrift für Geomorphologie*, Bd. IV, Heft 1, Oct. 1928.

Syntetische Morphologie der Erdoberfläche (G. Braun)

○ The Coral Reef Problem. By W. M. Davis, 1928.

Am. Geogr. Soc. New York.

○ Problems of Polar Research. By F. Nansen, and others, 1928.

Am. Geogr. Soc., New York.

○昭和二年本邦鐵業ノ趨勢 商工省鐵山局編 十月 日本鐵

山協會發行 定價參圓五〇錢

○燃料協會誌 第七四號(第五回大會特別號)十一月

石狩炭田の炭層狀態に就て(村田折)

北海道油田に就て(大村一義)

北海道石炭鐵業に就て(直原佐平)

本邦製鐵工業概況(服部瀨)

樺太の鑛業(日野信一)

○ Bulletin of the Imperial Earthquake Investigation Committee. (震災豫防調査會紀要) 第十卷第三號 十月

The Tazuma Earthquake of 1925. (A. Imamura).

○ On the Cause of the Tajima Earthquake of 1925. (N. Yanasaki).

◎ The Geography of the Polar Regions. By O. Nordenskiöld and L. Meckie. 1928. Am. Geogr. Soc. New York.

◎ A Shorter physical Geography. (By E. de Martonne; translated by E. D. Laborde) 1928. A. A. Knopf, New York.

○ 地質學雜誌 第三五卷 第四二一號 十月

隱岐島後の地質學的並に岩石學的研究(四)(富田達)

花岡産硫砒銅鑛に就て(和田長次)

山崩の分類(渡邊貫)

○ Fushun Coal and its geological significance.

(C. Iwasaki). Technology Reports of Tohoku Imp. Univ. VIII. No. 1. 1928.

○ 史蹟名勝天然紀念物 第三集 第十二號 十二月

日蓮上人鶴飼濟度の靈跡と笛吹川河床の轉變(石原初太郎)

○ 拺摩灘海洋觀測報告(日高孝次、川崎英男、水内松二) 海洋氣象臺彙報 第一八號 昭和三年十一月

雜報

○圖版第一版說明

上圖、舊陵島南陽洞に於けるエザリン輝石粗面岩の柱狀節理。舊陵島には粗面岩質の岩石がその種類も多く分布も廣い。圖は島の南岸に近い、南陽洞に於て、エザリン輝石粗面岩が兩側から谷流に削られて細長い上の平坦な堤防狀に残されたもの、尖端部を南方から寫したものである。岩石は暗灰色で長石と黒いエザリン輝石の斑晶とが多い。節理は極めて美事で徑二尺内外の五角又は六角の柱を作る。圖に現はれた部分の右側は更に南北四五百米に亘り高さ百数十米の懸崖をなし、すばらしい柱狀節理が發達してゐる。最上部即ち熔岩の上層には塊狀の節理不規則の部分がある。

下圖 舊陵島道洞。道洞は島の東南岸にあり、本島の主都である。港は谷の出口にあつて狭い瀾れ谷の狀をなし全く平地がない。谷の兩側に見上げるばかりの黒褐色の玄武岩の直立に近い崖からなり殆ど近よる事が出来ない。漁農その他に従事する内地人が五六百名居る。釜山を發して朝鮮東南岸の諸港を縫つて來る汽船の便りが一週に一度ある。寫眞は港の北方の丘から港口を望んだものである。(春本記)

○福岡縣地理學會近況